

「特集」メリデン版訪問家族支援に注目！

本人と家族をまるごと支援すると、 こんな変化が生まれます

これまで訪問看護の対象者はあくまで利用者本人で、
ともすれば、家族はそれに添う人とされてきました。

もちろん、「キーパーソン」として家族の話を聞き、
必要に応じてなんらかの支援も行なわれているはずですが、
家族を「利用者と同等に支援対象として位置づける」という認識は
薄いのではないだろうか。

今特集で紹介するメリデン版訪問家族支援は、
本人同様に、家族も支援の対象者であると考え、
一家にまるごと関わっていきます。

こうしたアプローチは、いつも「病」を中心に生活してきた家族から、
いつしか「健康的な暮らし」を志向した家族へと変化させ、
家族の力を強めていくのだとか。

メリデン版訪問家族支援とは一体どのようなものなのか。
そのメソッドとともに、事例を通してその効果を紹介していきます。
利用者と家族を一体的に支える支援の可能性が開けてきました。

